【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2006-39687(P2006-39687A)
【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2006-006
【出願番号】特願2004-214912(P2004-214912)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｆ　11/00　　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　 9/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｆ　11/00　　Ａ
Ａ６３Ｆ　 9/00　　５１２Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月9日(2007.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
物品を貯蔵し、前記物品を物品被払出側から視認することのできる視認部を有する物品貯蔵部と、前記物品貯蔵部内に配設され、前記物品の払出操作に応じて前記物品貯蔵部から前記物品を払い出す物品払出機構と、前記物品払出機構によって前記物品貯蔵部から払い出された前記物品を外部に取り出すための物品払出口とを有する物品払出ユニットと、
前記物品払出ユニットを着脱自在に収容する本体と、
を備え、
前記物品貯蔵部は、前記視認部の背面側から前面に向かって下る傾斜面を含む物品誘導部材を有し、前記物品誘導部材は着脱自在に設けられて前記物品貯蔵部を複数の空間に仕切るように構成されることを特徴とする物品払出装置。
【請求項２】
前記物品貯蔵部は、前記物品を視認可能な前記前面とは異なる他の面に箱状の背面板を有し、
前記箱状の背面板が前記物品貯蔵部の外部に露呈した状態で設けられることで前記物品貯蔵部の容積を拡大する請求項１に記載の物品払出装置。
【請求項３】
前記物品払出ユニットは、枠と支柱とを組み合わせて前面と側面と背面とを構成する構造体を有し、
前記構造体は、前記物品払出ユニットの前記本体への装着によって前記物品被払出側から前記物品貯蔵部に貯蔵されている前記物品の見かけ上の残量を視認できるようにした請求項１に記載の物品払出装置。
【請求項４】
前記物品払出ユニットは、前記本体に複数収容されている請求項１～３のいずれか１項に記載の物品払出装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】物品払出装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、透明なカプセル状の収納容器に収納された玩具・ガム等の商品（物品）を１個ずつ払い出す物品払出装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、このような要望に応えるべくなされたもので、物品貯蔵部を物品被払出側から視認可能な視認部に対向する領域にユニット本体の物品被払出側と反対側から物品を誘導可能な物品誘導部を備えるというきわめて簡単な構成により、各物品払出ユニットの物品収納量を見かけ上均一化することができ、もって売れ行きの良い物品やサイズの比較的大きい物品の補充回数を削減することができるとともに、売れ行きの良い物品と悪い物品との補充タイミングのずれ発生を防止することができる物品払出装置を提供する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第１の発明は、上記した目的を達成するため、物品を貯蔵し、前記物品を物品被払出側から視認することのできる視認部を有する物品貯蔵部と、前記物品貯蔵部内に配設され、前記物品の払出操作に応じて前記物品貯蔵部から前記物品を払い出す物品払出機構と、前記物品払出機構によって前記物品貯蔵部から払い出された前記物品を外部に取り出すための物品払出口とを有する物品払出ユニットと、前記物品払出ユニットを着脱自在に収容する本体と、を備え、前記物品貯蔵部は、前記視認部の背面側から前面に向かって下る傾斜面を含む物品誘導部材を有し、前記物品誘導部材は着脱自在に設けられて前記物品貯蔵部を複数の空間に仕切るように構成される物品払出装置を提供する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】